

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | | |
|-------|---------------|---|----|---|--------|-----------------|
| 一般会計 | | | | | 事務事業分類 | D 建設・整備事業 |
| 事務事業名 | 南海高野線連続立体交差事業 | | | | シート番号 | 019-062 |
| 担当部署名 | 建設 | 局 | 道路 | 部 | 連続立体推進 | 課 評価責任者(課長名) 山路 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|---|-------------------|---|----------------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 6 | まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 3 | 利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成 | 有 |
| | 2 | 事業開始年度 | 平成 19 年度 | | 終了(予定)年度 | — 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 都市計画法 踏切道改良促進法 | | | |
| | 4 | 関連計画 | 堺グランドデザイン2040 | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 鉄道が道路と交差する踏切では、交通渋滞や事故が発生しており、また鉄道が地域を分断し、一体的なまちづくりを妨げている。そこで、連続立体交差化とともに側道、駅前線及び駅前交通広場の整備を行うことで、踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消をめざし、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりを推進する。 平成19・20年度 国費調査 平成21年度 新規着工準備採択 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | | |
|------|--------------|--|--|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 市民及び道路・鉄道利用者 | | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 鉄道の連立化により既存の踏切(10箇所)を除却し、踏切事故や交通渋滞の抜本的解消を図るとともに、堺東駅については、駅前交通広場をはじめとする都市基盤整備を行うことで、中心市街地の活性化に寄与する。 | | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | 延長:約3km、踏切数:10箇所、立体化される駅:浅香山駅、堺東駅 関連事業として整備する都市計画道路、側道、駅前交通広場などを検討中 令和3年度の事業着手に向けた手続きや環境影響評価を実施し、住民合意を得ながら検討・設計を進める。 | | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 南海電気鉄道株式会社、業務並びに工事の受注者 | | | | | |

Ⅲ. 投入量

| 事業コスト | 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------|-----------------|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | |
| 11 | 事業費(a) | 千円 | 115,450 | 400 | 415,379 | 133,965 | 407,519 | 318,810 | 116,488 | |
| | 主な事業費内訳 | 委託業務等 | 千円 | 115,450 | 400 | 415,379 | 133,965 | 407,519 | 318,810 | 116,488 |
| | | | 千円 | | | | | | | |
| | | | 千円 | | | | | | | |
| | 財源内訳 | 国・府支出金 | 千円 | 63,250 | 0 | 195,000 | 55,000 | 203,000 | 157,695 | 55,220 |
| | | 受益者負担金(使用料、手数料等) | 千円 | | | | | | | |
| | | 市債 | 千円 | 46,500 | 0 | 175,500 | 49,500 | 182,700 | 124,600 | 15,300 |
| その他() | | 千円 | | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 5,700 | 400 | 44,879 | 29,465 | 21,819 | 36,515 | 45,968 | |
| 12 | 人件費(b) | 千円 | 12,300 | 12,300 | 28,700 | 28,700 | 28,350 | 28,350 | 31,160 | |
| 13 | 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 127,750 | 12,700 | 444,079 | 162,665 | 435,869 | 347,160 | 147,648 | |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|---------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 南海高野線連続立体交差事業 | シート番号 | 019-062 |
|-------|---------------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| | | 令和元年度実績 | | | | |
|---------|----------|--|---|--|--|--|
| 活動実績と成果 | 14 | 令和元年度実績 | 令和元年度は、鉄道及び関連道路の検討・設計を進め、都市計画決定に向けた手続きや環境影響評価を実施した。 ・鉄道に関する構造検討及び土質ボーリング調査を実施 ・鉄道に関する国との比較設計協議を実施 ・関連公共施設(駅前広場、側道等)に関する警察との設計協議を実施 ・鉄道及び関連公共施設の都市計画変更の方針を作成し、都市計画審議会に報告 ・環境影響評価(方法書)審査会への説明を経て、現地調査を実施 ・国土交通省及び大阪府と都市計画決定に向けた協議を実施 ・検討状況を説明する資料をホームページ及び窓口にて公表 | | | |
| | | 定性的な目標 | | | | |
| | 15 | 都市計画決定に向けた手続き | | | | |
| | | 目標に対する実績 | 平成29年度 鉄道構造形式検討委員会からの提言、平成30年度 環境影響評価着手、令和元年度 環境影響評価の調査を実施 | | | |
| | 定性的な目標 | | | | | |
| 16 | 事業の地元合意 | | | | | |
| | 目標に対する実績 | 平成30年度 事業概要説明会8回、環境影響評価方法書説明会3回、令和元年度 検討状況説明資料公表 | | | | |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|---|---------------------|------|--------|--------|-------|
| 17 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | |
| | | 備考(算出についての説明等) | | | | |
| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 18 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | |
| | | 備考(算出についての説明等) | | | | |

業績の分析

| | | |
|----|--|---|
| | | 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) |
| 19 | | ・都市計画決定に向けて、必要となる手続きを計画どおりに進めることができた。 ・検討状況の地元説明については、説明会を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、ホームページ及び窓口公表に切り替え、随時問い合わせに対応している。 |

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|---------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 南海高野線連続立体交差事業 | シート番号 | 019-062 |
|-------|---------------|-------|---------|

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

| | |
|-------------------------------------|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 確認 |
|-------------------------------------|----|

| | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|--|---|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消ができない。 ・堺グランドデザイン2040で描いた堺東駅周辺の将来像の実現に向け不可欠な事業であり、堺東駅周辺の中心市街地活性化と本市の持続的な発展に資することができない。 | |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消が遅れる。 ・堺グランドデザイン2040で描いた堺東駅周辺の将来像の実現が遅れる。 | 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ・最も効果的で効率的となるよう事業区間を定めており、事業計画の策定にあたってはコスト縮減に努めている。 | |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 ・連続立体交差事業は、都市計画法に基づき事業認可を取得し、地方公共団体と鉄道事業者が実施する事業であるため。 | |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 () | 理由・説明 | ①鉄道事業者との協定や民間委託により、事業を効率的に推進している。 ②事業の進捗情報をホームページに公表し、市民に情報提供している。 ③都市基盤整備の方針等検討庁内委員会を設置し、関係部署への情報共有をし、必要に応じて各々協議して事業を推進している。 ④都市計画決定手続きについて、国及び大阪府との協議を重ね事業を推進している。 ⑤「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する要綱」に基づき実施しており、他都市とのサービス水準の均衡が図られている。令和2年度全国で48箇所実施中。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | | |
| | | 所見 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年6月に予定していた説明会を延期したが、住民からの問い合わせも増えている。今後は感染拡大防止対策に配慮した説明会を実施し、地元合意を得ながら、令和3年度の事業着手に向けて手続きを進める。 | | |